

南地域まちづくり かわら版

「安全で安心できる住みよい地域づくり」を目指し、各部会において様々な取り組みをおこなっています。

南地域のたからもの vol.2 ~ ちゅうてつじぞうほさつりゅうぞう 鑄鉄地藏菩薩立像 ~

愛知県指定文化財である「鑄鉄地藏菩薩立像」、通称「汗かき地藏」は、像の高さが96.3cmで、16世紀末頃（今から約400年前）に造立されたものです。像を拝見すると、左手が欠損しています。これは愛知県内にある他の事例から、手のひらを上にして宝珠を載せていたであろうと思われます。

長松寺の寺伝によると、元々は中島郡奥田村（現在の稲沢市奥田）に所在していましたが、元禄7年（1694）、開基である伝東和尚が諸国巡行の際、村人の願いによって現在の地に建立したとされています。よって、鑄鉄地藏菩薩立像も、寺の移転とともにこの地へ移されたと考えられています。



福祉・防災部会を開催しました！

8月26日（土）、第2回福祉・防災部会を開催しました。

防災をテーマに開催予定の『地域交流イベント（11月26日）』に向け、当日のプログラムや実施内容について話し合いました。

福祉・防災部会では、防災の備えから広がる日頃の見守り支え合い（福祉活動）の実現に向け、『近助』をキーワードに地域でできることを検討しています。

そうしたことから、今後は、一次避難所等身近な施設を活用した避難所のあり方や行政から目の届きにくい用水をはじめ、冠水しやすい道路等を『（仮称）浸水ハザードマップ』にまとめることなどについて、地域の皆さんと意見交換を重ねていきます。

